

自分の考えをまとめよう

源波好子 青森県八戸市立根岸小学校教諭

1 課題のねらい

児童の作文嫌いの理由として「書く事柄がない」「書き方が分からない」「面倒くさい」「書く必要がない」があげられる。生活の中から主題を見つけ、自分の考えを文章で表現することは、自分で考え判断し、表現する力を養うことになる。書くために必要な活動を通して、小学校生活の作文学習の総まとめをさせる。

2 学習内容

時	主な発問・指示	指導のポイント
1 ・ 2	卒業論文を作ろう。 ● 論文のテーマを決めよう ● 学習計画を立てよう	<ul style="list-style-type: none"> 児童の書く意欲を喚起させる意味でも、自分の生活を見直し、自分とかかわりが深いテーマを選ぶよう助言する。 テーマが決まらない児童には、新聞記事から選ぶ方法があることを知らせる。 自分の考えが相手に伝わりやすいよう、簡単な構成メモを作らせる。
3 〜 5	論文に必要な資料を集めよう。	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事の切り抜きや図書室の本などから、テーマにそった内容の記事を選ばせる。 インタビューや自らの体験など、取材方法を工夫させる。 短時間内で資料収集ができるように、テーマ一覧を作成し、資料交換させる。
6 〜 12	自分の考えが伝わるよう、表現を工夫して書こう。 ● 資料が生きるように表現を工夫しよう ● 友達の論文を読んで、参考になるところを探そう	<ul style="list-style-type: none"> 主題や記述内容が読み手に伝わるようなサブテーマをつけるよう助言する。 今までの学習を振り返ったり新聞を参考にしたりして、書き出し・まとめの仕方・全体のレイアウトを自分なりに工夫するよう助言する。 記述途中で、30分ぐらいの鑑賞タイムを設け作品の良さを認め合わせるとともに、自分の参考になるところを見つけ出させる。 自分の作品を読んで誤字・脱字を探させる。
13	発表会をしよう。	<ul style="list-style-type: none"> 今後の学習の参考資料として生かしていけるように、感想を発表させたり作品を見合ったりさせる。

